

## 合唱コンクールについて

6 月末日、メイン校であるンサナマ小学校にて合唱コンクールを企画した。まず教員に向け企画の説明し、児童委員会を発足。児童中心にクラスの音楽リーダーを決め、(音楽委員会という位置付け) 彼らがクラスに合唱コンクールの説明をするようにした。ボランティア→音楽リーダー→教員・クラスと伝達系統を作ることで、児童主体の活動になるようにした。

自由曲を決める際には児童が前に立ってクラスに呼びかける姿が見られた。



クラスの自由曲を決めているところ



音楽リーダーが試しに歌っているところ

練習期間は二週間あったが、ボランティアが教室に行かないとなかなか練習できず、全教員の自主的な関わりは十分に得られなかった。その中でも担任教員が練習を見てくれたり、児童だけでしっかりと練習をするクラスもあつたりと、改めて子ども達の力を感じることができた。



児童だけで放課後に練習している！



担任が自ら指導に当たっている。

同時進行で放課後に音楽クラブとして、鍵盤ハーモニカの練習を続けた。楽器はエコライフはままつ様より寄贈いただいたもので、前任者の時から教員研修などで使用されている。子ども達は土日もなく毎日練習に来るので、応えてあげられるようにした。全員が必ず集まるわけではなかったが、本人のやる気を大切に、来ないからといって注意はしなかった。(でも友達がどんどん上手くなるから焦って練習には来る・・・)

また当日に向けて、司会、はじめの言葉など進行担当を音楽リーダーの中から決め、練習を進めた。横断幕など備品の準備も児童が進められるように支援した。



横断幕を真剣に描いています。



飾り付けの作成中！



緊張しながらの通し練習。



リハーサルで入退場の確認中。

リハーサルも予定通りには行かず、当日が大変不安だった・・・それでも委員会担当教員の協力もあり、当日は15分遅れではあるものの実施することができた。

当日ゲストが来なかったり、結局練習が不十分だったりとなかなか苦労することがあり、同僚・校長に相談することも多かった。時には冷たい態度も取られた。それでも、実施することで実際に動いてくれる教員が把握できたし、何より子ども達や先生達に「学校行事ってこんなもの」と感じてもらえたことが今後につながる合唱コンクールにすることができたと思う。また目標にしている児童による児童のための活動が少しではあるが見ることができた。(振り付けを考えるのに児童から意見が出て、他の子が付け足したり、賛成したりして意思決定していく場面など)

今回は一校のみで行ったが、今後は各学校でも開催し、最終的に管轄地域校対抗の合唱コンクールを開催できるように日々の活動に活かしていきたいと思う。

以上